



SNS(X) 開設中！

@jtsue_yamanashi

2024.8.25 No.4

あなたの線区は大丈夫ですか？

倒木や倒竹などによる輸送障害のリスクはありませんか？

近年、台風やゲリラ豪雨によって、倒木や倒竹が発生することが多くなっています。また、猛暑が続いていることからホームや沿線などに草が短期間で伸びやすくなっています。

沿線の草や枝が伸びてしまったままのため

- ・走行中の列車に当たってしまうこと。
- ・車掌が駅到着前に列車から顔を出す際、顔に当たってしまいそうになる。
- ・信号機が隠れてしまっているため運転士が信号の表示状況を遠くから確認できない。

といったことが相次いでいます。

しかし、会社はコストカットや効率化施策を進めるあまり、必要な除草や木の伐採などが十分に進んでいるとは言えません。これが放置されたままになれば、

- ・駅やホームが草によって景観の悪化や害虫の発生する原因
- ・木が線路上にはみ出ることによって列車の衝突事故の原因

になりかねません。

8月21日には水郡線で列車が倒木と衝撃し、木が前面の窓ガラスを貫通する事態も発生しました。幸いお客さまや乗務員に怪我はありませんでしたが、死傷事故が起きてからでは遅いのです。

私たちから声をあげていくとともに会社は過度なコストカットをせず、安全な鉄道づくりのために除草や伐採を積極的に行っていくべきです。

過度なコストカットを許さず、必要なことには

一人ひとりが声をあげていこう！

